

とちぎ行革プランの進捗状況【24年度】(概要版)

計画全体の進捗状況としては、概ね順調に推移



取組項目毎の達成状況

全取組項目数 : 95項目

うち、目的を達成 () : 2項目 順調に推移 () : 84項目

継続検討等 () : 7項目 判定保留 (-) : 2項目

県民とともに地域を創る行政の推進

: 20項目 : 5項目

県民に関われた行政の推進

: 20項目 : 1項目

自律的な財政基盤の確立

: 1項目 : 21項目

スリムで活力ある執行体制の確立

: 1項目 : 23項目 : 1項目 - : 2項目

《協働》県民とともに地域を創る行政の推進

一部の取組で課題有り



市町村への権限移譲を積極的に推進しました

24年1月に「栃木県権限移譲実施計画」を改訂 25年4月1日現在の権限移譲法令項目数：12法令 2,000項目（条例移譲のみ）

アウトソーシングを推進しました

県で行う国家資格試験のうち、電気工事士の免状交付事務を、25年度から民間団体にアウトソーシング実施

民間活力を活用するため、指定管理者制度による管理運営等を行いました

24年度は、県民の森において募集・選定 25年4月1日現在の指定管理者制度導入施設数：44施設

施設整備への民間活力の活用を図りました

全国初の取組として、寺山ダムに「ダムESCO事業」を導入することとし、事業者を決定

「ダムESCO事業」：ダム管理者が民間の持つ資金・経営能力等を活用し、管理用水力発電と既存設備の省エネルギー化を行うことにより、賦存の水力エネルギーの有効活用、ダム管理における環境負荷（CO₂）の低減、管理費の削減を図る事業

県有施設のあり方見直しを実施しました

なす風土記の丘資料館、しもつけ風土記の丘資料館の移管について地元市町と協議を実施

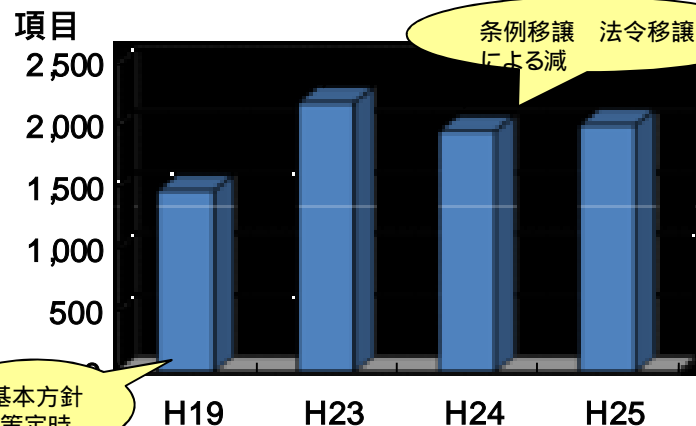
県出資法人等の見直しを実施しました

財団法人栃木県森林整備公社を解散（25年4月8日）

【課題】

一部の県有施設で売却・移管協議が進んでいない

市町村への権限移譲項目（条例によるもの）



寺山ダム（ダムESCO事業）

《透明》県民に開かれた行政の推進

概ね順調に取り組んでいる



重点戦略マネジメントを実施しました

新「とちぎ元気プラン」の着実な推進を図るための重点戦略マネジメントを実施

県政情報を積極的に発信するとともに、県民参加の推進を図りました

県ホームページに掲載された新着情報等を発信する栃木県広報課ツイッターを開始

とちぎ元気フォーラムを開催（17年度から継続実施）

（24年度は地域版、青年版、大学生版、高校生版を合わせて計7回実施）

手続や事務処理の公正を確保するとともに、透明性の向上にも努めました

公共工事等以外の契約について、件名や金額等の契約締結状況を県ホームページで公表

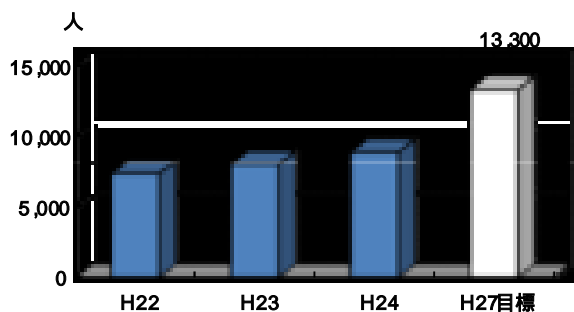
ICTの活用等による手続の改善を図りました

「とちぎIT推進プラン」の行動計画である24年版「とちぎIT推進アクションプラン」を作成し、県ホームページで公表

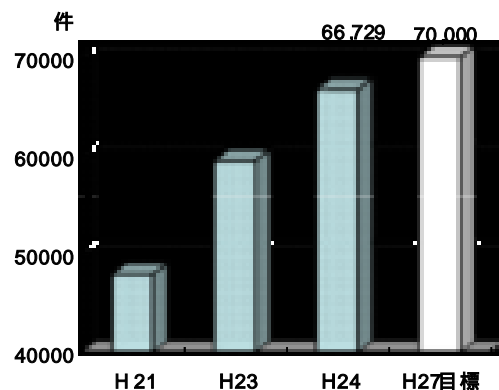
県民サービスの向上を図りました

25年度の県民サービス向上運動の本格導入に向け、23年度の試行結果をもとに公表方法の見直し等を実施

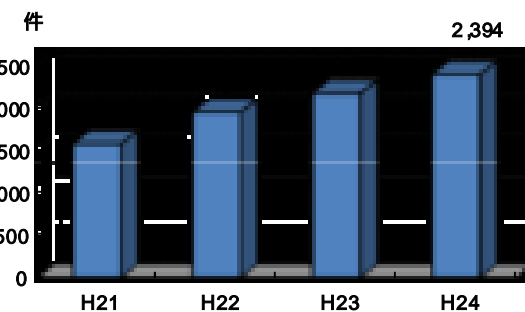
元気フォーラム参加者累計



申請・届出等手続のオンライン利用件数



県民サービス向上運動取組件数累計



《自律》自律的な財政基盤の確立

概ね順調に取り組んでいる



自律的な財政運営に向けた取組を推進しました

平成25年度当初予算において、「とちぎ未来開拓プログラム」の目標である収支均衡予算を編成

行政コスト削減のための取組を推進しました

予算額を計上せずに実施する「ゼロ予算事業」を実施（24年度実績：159件 うち新規 20件）

県単補助金の縮減・合理化（24年度当初予算で前年度に比べて約 11.5億円削減）

安定した税収入等を確保する取組を実施しました

引き続き、県税事務所による市町からの徴取引受けや県税事務所職員の併任支援により滞納整理を実施

広告による収入確保

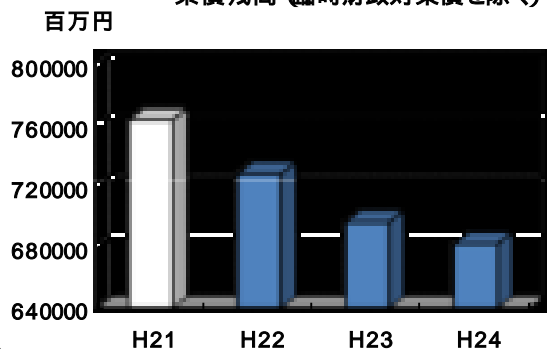
未利用財産の売却や公募による貸付を実施

公営企業の自立経営に向けた取組を推進しました

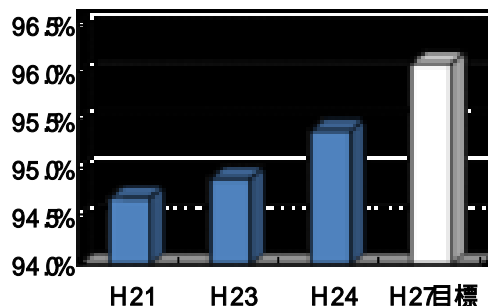
企業局経営計画に基づく効率的な経営を実施

県立3病院について、改革プラン（21～25年度（2年間延長））の目標達成に向け、経営全般にわたる経営改善を実施

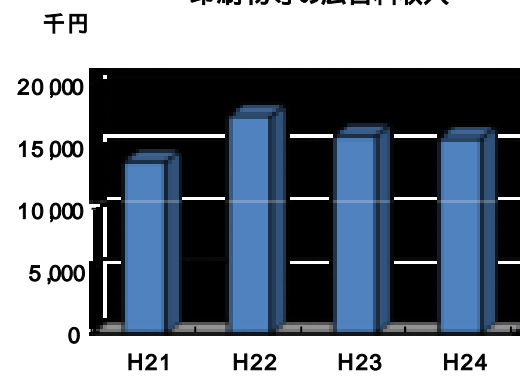
県債残高（臨時財政対策債を除く）



県税徴収率



印刷物等の広告料収入



原動力》スリムで活力ある執行体制の確立

概ね順調に取り組んでいる



効果的で効率的な組織の整備を行いました

健康長寿とちぎの実現に向けた各種取組を推進するため、健康増進課内に「健康長寿推進班」を設置（25年4月～）

適正な定員管理を実施しました

「とちぎ未来開拓プログラム」に基づく平成25年4月を目標とする職員数削減目標を達成

意欲に満ちた人材の育成を推進するとともに人事評価システムを本格導入しました

人材の育成を目的とした職員派遣の実施

（H25 国、他県、民間企業等へ16名派遣）

人事評価システムについては、17年度からの試行結果を踏まえ評価方法等について見直しを図った上で、平成24年10月から本格実施

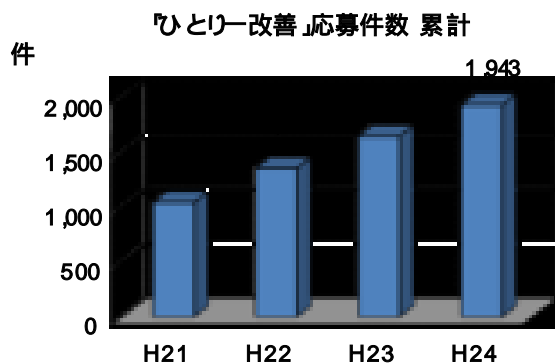
事務処理の効率化や事務の改善を図りました

平成25年度の総務事務室（通称 総務事務センター）の設置及び一部稼働に向け総務事務の集中化、システム化等による効率化の推進について検討

職員提案制度である「ひとり一改善」を実施（24年度応募総数：287件）

【定員管理計画】

区 分	プログラム 基準年 21.4.1	大綱 基準年 22.4.1	目標年 25.4.1	実績 25.4.1		
一般行政部門	4,736	4,593	4,289	4,406	330	117
教育部門	15,922	15,762	15,566	15,372	550	194
警察部門	3,758	3,734	3,742	3,746	12	4
公営企業部門	798	800	767	835	37	68
合 計	25,214	24,889	24,364	24,359	855	5



総務事務センター（通称）の設置